



本日はよくお参り下さいました

ツツジが満開の時を迎えています。新緑の季節、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今月は田植えが行われる月です。サツキという月の名の由来は、田植えが盛んで、早苗を植える月の意で、早苗月と言ったのを、略してサツキとなりました。サツキのサは、神に捧げる稲の意で、そこから稲を植える月の意になったとも言われています。国学者の本居宣長は、田を植えることをすべてサというのでサツキは「田植えの月」の意味と解しています。さて、新年度、新学期が始まり、環境が変わった方は特にストレスがたまりやすくなり大型連休を過ぎた頃から五月病になってしまうこともあると思います。五月病に有効な対策は、栄養を摂りよく休むこと、気分転換をすることだそうです。ちょっとしたでも、異変に気が付いたら、友達や家族などに相談し、一人で抱え込まないようにしたいものです。また2日は八十八夜です。立春から数えて八十八日目で「八十八夜の別れ霜」といわれるように、この頃から霜が降りなくなり、日に日に夏めいてきます。季節の変わり目で心身が不安定になりがちですが、皆さんがご健勝でありますようお願い申し上げます。(道子)



5月

- 1日 月首祭 月の初めの恒例祭祀。小祭。
- 3日 憲法記念日 日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する。
- 4日 みどりの日 ※自然に親しむとともに、その恩恵に感謝し豊かな心を育む。
- 5日 こどもの日 子供の人格を重んじ、子供の幸福を図るとともに、母に感謝する。
- 10日 正五九祭 物忌み月とされる正月と五月と九月に当社で行われる小祭。
- 11日 母の日 日頃の母親の苦勞を労り、母の恩に感謝する日。
- 15日 月次祭 月の半ばの恒例祭祀。小祭。

※昭和25年「(戦後の)荒れた国土に緑の晴れ着を」を合い言葉に始まった国土緑化運動の象徴とも言える「全国植樹祭」は昭和天皇から今上陛下に受け継がれ、毎年行われています。今年の第65回全国植樹祭は6月1日、新潟県の、長岡市、小千谷市、魚沼市、十日町市で行われます。



天神さまの豆知識

端午の由来

旧暦では月ごとに十二支があてはめられ五月は午の月とされています。端午はもとも月の初めの午の日のことをいいます。五月五日を端午とする風習は中国で始まったとされ、月と日の数が重なる日を祝日にする風習があり、この日中国では野に出て薬草を摘んだり、よもぎで作った人形を家の戸口にかけたり菖蒲酒を飲んだりして邪気を抜く行事が行われていました。この行事が平安時代の貴族の間から次第に民間へと普及していったと考えられています。江戸時代以降、男子のいる家では、鯉のぼりを立て、甲冑・刀・武者人形などを飾るようになります。端午の節供の日には、菖蒲やよもぎを軒先に差したり、菖蒲湯に入ることが一般的なこととされてきました。これは、香の強い植物には病氣や災厄を祓う魔除けの力があると信じられていたことに起因し、逆にいえば、この時期は季節的に疫病が発生しやすい時期であったことを意味しています。一方日本では、古くから五月を物忌み月とし、「さつき忌み」として神聖な田植えが始まる時期、早乙女が家に籠もって身を清め、田の神を迎え祭るといふ行事が行われてきました。田植えをする女性、つまり若い女性が汚れを被い身を清めたのです。五月の節句とは日本古来のさつき忌みの習俗と中国伝来の端午の節句が一緒になったものとみることが出来ます。参考文献『こよみ読み解き事典』柏書房(株)発行 岡田芳朗・阿久根末忠編著



男女の別なくお祝い



日本神話の世界 全十一回

第二回

「国生み」

伊邪那岐命、伊邪那美命の二柱の神は『この漂える国を修め理り(つくり)固め成せ』と、天つ神一同から天沼矛(あめのぬぼこ)を賜ります。二柱の神は天と地に架けられた天の浮橋にお立ちになり、沼矛で海面をかき回しました。引き上げた矛の先から海水が滴り落ちて島ができました。これが『おのころ島』です。二柱の神は、おのころ島に降り、天御柱を立て、御殿を立てて先に伊邪那美命が先に声をかけて結婚します。最初に生まれた子は水蛭子(ひるこ)でした。次に淡島を産みましたが、あわあわとして実態のない島だったので、この子も子供の仲間に入れませんでした。そこで二柱の神は相談して、天つ神の助言を求めます。助言に従い今度は伊邪那岐命から声をかけて結婚をやり直します。すると、次々に十四の島が生まれました。淡路島、四国、隠岐、九州、吉岐、対馬、佐渡、本州の八つの島で大八島といえます。大八島国は古い日本の国名です。さらに、児島半島、小豆島、周防大島、姫島、五島列島、男女群島です。瀬戸内海を西に向かい、長崎県の五島列島に至る海路に沿った島々で重要な航路だったのでしょう。国土もまた神であったのです。



国土もまた神の子

参考文献『神話のおへそ』(株)扶桑社発行